

夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！①

坂東 久平

7月21日(土)ならやまベースキャンプで、恒例のイベントを開催しました。

猛暑の中、幼児を含む子供33名と保護者28名の61名の参加者でした。(キャンセルは3家族に収まり一安心) 当会スタッフ41名がお世話をさせていただきました。

9時半の受付開始とともに続々と参加者が来場し、子供たちは早くも捕虫網を振りながら、駆け回っていました。

10時に開会のセレモニーと集合写真の撮影を終え、午前中の行事「飯ごう炊さん」に取りかかりました。



4班に分かれ、各班世話役の指導の下で、ブロックを使ったカマドの組み立て、お米の準備、野菜の準備などに分かれて、子供たちが大活躍です。



普段は使ったこともないマッチに火を付けたたり、慣れない包丁で野菜を切ったり、お米をといたり、初体験の

事が多かったようです。

小さな怪我はありましたが、無事準備ができて、飯ごうでご飯を炊きました。熱中症にならないよう、水分補給などに気を配りました。

スタッフの協力でカレーが出来上がり、予定時刻に昼食タイムを迎えました。自分たちの作ったカレーライスのは格別のお味のように、ご飯も足りなくなるほどの大好評でした。食後に飯ごうや食器などの洗浄をしました。

午後は、昆虫採集、ビオトープの水生生物観察と里山の観察(シイタケ栽培、部分皆伐地)を、2グループに分かれて行いました。異常な高温のため計画を一部変更し、1クルーを20分に短縮し水分補給と休憩を入れ、熱中症対策に配慮しました。十分な時間が無くて子供たちには申し訳なかったのですが、やむを得なかったと考えています。

昆虫採集では、たくさんの蝶やトンボを捕まえた子もいました。



ビオトープでは、担当者から水生生物の話の聞き、池の生き物を捕まえていました。

緑陰広場の裏から、急な山道を登り里山林に入り、まず、シイタケ栽培の原木を見て、大いに興味を示しました。また、部分皆伐地では、担当者から森の仕組みの話があり、子供たちも保護者の方も大変勉強になったようです。



当初予定の15時より早めの解散となりましたが、事故もなく無事に終了しました。

事前の準備、当日のお世話、事務局及びスタッフの皆さま、大変お世話になりありがとうございました。